

対談：朝日研究会座長に聞く

就労継続支援A型事業の制度上の課題

1. 福祉就労の必要性（インクルーシブ社会との関係）
2. A型事業が目指すもの（企業への移行と継続就労）
3. 他の就労支援事業（B型、就労移行）との関係
4. 経営形態・・・営利企業の参入

就労継続支援A型事業の運営上の課題

1. 生産活動と福祉的支援・訓練のあり方
 - ①生産活動 経済原則・・・（収支黒字）の適用
 - ②福祉的支援・訓練・・・支援として何が重要か
 - ③生産活動と支援のバランス・・・両者のバランス、トレードオフ
2. 運営体制の整備・・・職員の質の向上、ITやAIの活用
3. A型の利用者像・・・選択支援を見据えて
4. 「悪しきA型」対策・・・自治体の指導、利用者の選択

企業雇用との関係

～雇用の場としてのA型の役割～

1. A型事業所と企業

合理的配慮と福祉的支援の違い、特例子会社とA型

2. 雇用率、調整金等

対象とするか、限定の必要性、グループ算定は？

3. 企業とA型事業所の連携

- ・ A型から企業への移行の促進
- ・ 企業によるA型支援（事業発注、施設外就労）
- ・ 企業から見たA型の役割

（障害者の加齢・重度化、メンタル不調者の増加、支援ノウハウの提供）

4. 雇用率ビジネス